



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより



- 新体制がスタート 2
- 平成30年第4回定例会 4
- 議員別賛否状況 6
- 委員長報告、討論 7
- 一般質問(6名) 8
- 特別委員会の審議 13
- 会期中の常任委員会等審議 14

第55号

(南部保育所 5歳児)

町民の代表 新しい顔ぶれ決まる！



就任のごあいさつ



宝達志水町議会第8代議長

柴田 捷

このたびは、町議会議員選挙後初めての町議会臨時会におきまして、議員各位の支持をいただき第8代の議長に就任することになりました。誠に身に余る光栄であり、と同時に事の重大さをひしひしと感じているところであります。

地方自治体を取り巻く環境は厳しいものがあります。我が町では、人口減少問題をはじめ小学校、保育所の統廃合問題や下水道事業等、解決しなければならぬ課題が山積しております。この課題解決のため議会といたしましても議会本来の行政に対するチェック機能は当然のこととして、町民目線で町民のための議会運営とするよう全身全霊を傾け鋭意努力していく所存です。宝達志水町の将来を見据え、魅力的で活力あるまちづくりの実現に向けて、行政を後押し、バックアップしながら、或いは討論しながら宝達志水町が素晴らしい町になるよう皆さんと一緒に頑張ってみてまいりたいと思っております。

議会運営の一層の充実と町民本位の開かれた議会運営を目指し、町民福祉の向上と町の活力あふれたまちづくりのため、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

臨時会
平成31年1月7日

新体制がスタート



塚本勇仁副議長（左）と柴田捷議長（右）

議長に柴田 捷氏、 副議長に塚本 勇仁氏を選出

<p>副議長 塚本 勇仁</p> <p>略歴 元区長。 2期。農業。62歳。</p>	<p>議長 柴田 捷</p> <p>略歴 総務産業建設常任委員 会委員長、教育厚生 常任委員会委員長、 ふるさと人口対策特 別委員会委員長、監 査委員など。 4期。農業。74歳。</p>
---	--

議会組織構成

(◎は委員長、○は副委員長)

<p>総務産業建設常任委員会</p> <p>◎ 土上 猛</p> <p>○ 松浦 文治</p> <p>北 信幸</p> <p>金田 之治</p> <p>塚本 勇仁</p> <p>勝二 正人</p>	<p>教育厚生常任委員会</p> <p>◎ 林 稔</p> <p>○ 岩根 信水</p> <p>小島 昌治</p> <p>北本 俊一</p> <p>守田 幸則</p> <p>柴田 捷</p>	<p>議会運営委員会</p> <p>◎ 守田 幸則</p> <p>○ 金田 之治</p> <p>北 信幸</p> <p>北本 俊一</p> <p>土上 猛</p>	<p>病院運営特別委員会</p> <p>◎ 小島 昌治</p> <p>○ 勝二 正人</p> <p>金田 之治</p>	<p>広報編集特別委員会</p> <p>◎ 塚本 勇仁</p> <p>○ 小島 昌治</p> <p>守田 幸則</p> <p>土上 猛</p> <p>林 稔</p>	<p>議会改革特別委員会</p> <p>◎ 塚本 勇仁</p> <p>○ 土上 猛</p> <p>北 信幸</p> <p>金田 之治</p> <p>北本 俊一</p> <p>林 稔</p>	<p>ふるさと人口対策特別委員会</p> <p>◎ 守田 幸則</p> <p>○ 勝二 正人</p> <p>北本 俊一</p> <p>林 稔</p> <p>松浦 文治</p> <p>岩根 信水</p>	<p>小学校及び保育所統廃合特別委員会</p> <p>◎ 林 稔</p> <p>○ 小島 昌治</p>	<p>町監査委員</p> <p>北本 俊一</p>	<p>羽咋郡市広域圏事務組合議会議員</p> <p>北 信幸</p> <p>金田 之治</p> <p>北本 俊一</p> <p>守田 幸則</p>	<p>石川県後期高齢者医療広域連合議会議員</p> <p>柴田 捷</p>
---	--	--	--	---	---	---	--	----------------------------------	--	--

平成29年度一般会計決算等を認定！

※ 関連記事 (P 6 委員長報告・討論、P 13 決算特別委員会)

平成30年 第4回定例会(11月8日～16日)



(本会議の様子)

第4回町議会定例会が、去る11月8日から16日にかけて開催され、決算関係9件が認定されたほか、補正予算関係の議案8件、指定管理関係3件が可決されました。

最終日には、継続調査となっていたふるさと人口対策特別委員会、小学校及び保育所統廃合特別委員会各委員長から調査、検討結果について報告がありました。

平成30年度 補正予算の状況

会 計 名		補正後の予算額	補正額
一 般 会 計		76億1,743万0千円	1億2,688万4千円
特別会計	国民健康保険	14億9,623万1千円	債務負担行為補正のみのため額の計上はなし
	後期高齢者医療	1億9,653万3千円	〃
	介護保険	18億4,553万0千円	〃
	ケーブルテレビ事業	7,422万1千円	〃
企業会計	上水道事業	5億2,496万1千円	〃
	下水道事業	14億1,638万7千円	〃
	病院事業	16億1,747万5千円	〃

補正予算の主な内容

○ 一般会計

・ふるさと納税業務委託料	229万円
・障害者自立支援放課後サービス費	624万円
・管外保育所運営費負担金	279万円
・シルバー人材センター運営事業費補助金	115万円
・広域農道維持管理業務委託料	371万円
・県単荒廃地復旧工事費	260万円
・小学校普通教室エアコン設置設計委託料	878万円
・農業施設災害復旧工事費	1,560万円
・農地災害復旧工事費	1,070万円
・林業施設災害復旧工事費	3,923万円
・公共土木施設災害復旧工事費	2,910万円

◎ **要望内容**

- 1 国道159号大海川橋の拡幅について
- 2 押水羽咋海岸（千里浜海岸）侵食対策事業の促進について
- 3 二級河川宝達川の改修及び改良等の整備について

★ **常任委員会合同要望活動**

★ 平成30年10月17日
～18日

★ 目的 町の懸案事項のうち国の予算に係る事業等に対して事業化に向けた要望を行うもの。



(西田昭二衆議院議員に要望)

今年度の要望活動は、常任委員会合同による要望活動で県内選出の国会議員に対して要望を行ってきました。

当日、衆議院・参議院議員会館を訪問したところ、各国会議員は、第4次安倍内閣が発足した直後であり臨時国会召集間近の大変忙しい状況にもかかわらず、日程調整をしながら、4人の国会議員に直接要望書を届けることができました。



(山田修路参議院議員に要望)

要望では、地元が抱えている現状をつぶさに説明し、国による予算化や支援をお願いしてきました。

それぞれの国会議員からは、関係省庁との折衝や解決方策を関係者に求めるなど、地元に関与していただけるよう努力することでした。

今回の要望活動を通じて、これからも、あらゆる人脈を駆使し、町の懸案事項解消のため、粘り強く行っていくとの思いを新たにした次第です。

11月定例会で審議された議案等・議員別賛否状況

区 分 (主な内容)	結 果	林 稔	塚 本 勇 仁	久 保 喜 六	土 上 猛	柴 田 捷	林 一 郎	守 田 幸 則	北 本 俊 一	金 田 之 治	小 島 昌 治	北 信 幸	近 岡 義 治
○平成30年度補正予算													
宝達志水町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町病院道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
○指定管理													
指定管理者の指定について(宝達志水町伝説の森公園及び伝説の森公園トイレ)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
指定管理者の指定について(宝達志水町広域勤労青少年ホーム及び宝達志水サッカー場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
指定管理者の指定について(総合体育施設及び宝達志水グラウンドゴルフ場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
○決算認定(平成29年度)													
宝達志水町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
宝達志水町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
宝達志水町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
宝達志水町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
宝達志水町ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
宝達志水町下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○
宝達志水町国民健康保険志雄病院事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
宝達志水町宝達志水病院事業会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○

※ ○は賛成、×は反対、△は退場を表しています。なお、議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長裁決」として表明します。(「裁」と記載)

委員長報告

決算特別委員会

委員長 久保 喜六

付託されました、9会計の決算認定に当たっては、採決において、賛否はわかれましたが、本委員会として、認定第1号から認定第9号までの9件は、いずれも認定すべきものと決定した。審査の過程において指摘・要望があったのでこれらの項目について十分検討のうえ、今後の行政執行において適切に対処されるよう強く要望する。

① 町長をはじめとする町執行部は、議会制民主主義を正しく理解し、答弁は、うそ偽りのないよう誠実で正直に答弁された。

② 監査委員の意見にもあ

ふるさと人口対策特別委員会

委員長 柴田 捷

本委員会の開催経過については、平成28年12月16日の第4回定例会において組織構成の変更がなされてから2回の委員会開催と2回の先進地視察を行ない調査検討してきた。その調査結果については次の3点について重点的に施策を具体化していくこととし、さらに検討を重ねていくとの結論に至った。

① 交流人口を増やす施策展開する。

② 移住・定住対策については、県内先進地の事例を参考に施策を具体化する。

③ 具体化した施策について情報提供を分かりやすくあらゆるツールを使って発信していく。

なお、平成31年1月からの新たな組織において、引き続き本委員会を設置していただき、先の3点における具体的施策について検討を重ねるようお願いする。

小学校及び保育所統廃合特別委員会

委員長 小島 昌治

本委員会の開催経過については、平成30年6月15日の第2回定例会において、設置がなされてから5回の委員会を開催し、調査検討してきた。その調査検討結果については、議会として次の3点について、町執行部に強く要望し、さらに検討を重ねていくとの結論に至った。

① 閉所予定の小学校及び保育所に関しては、対象の保護者や地域に納得のいく説明を対象者が十分と感じるまで行うこと。

② 小学校及び保育所を閉所するとき、それが果たしてきた子育てと地域の交流の意義と役割を行政や議会が再認識し、その機能を守る代替案を提示し、閉所の同意を得ること。

③ 統廃合の是非は、大人の都合でなく子供を中心に考えたものにする。なお、来年1月からの新

討論!

決算認定に反対

小島 昌治議員

たな組織において引き続き本委員会を設置していただき、先の3点における具体的施策について検討を重ねるようお願いする。

承認しない決算は、平成29年度一般会計決算、同国民健康保険特別会計決算、同後期高齢者医療特別会計決算、同上下水道事業会計決算、同介護保険特別会計決算の6件である。

平成29年度の各会計決算の討論を、人口を増やすという角度から行いたい。

平成28年度に町人口ビジョンが発表されて以来、人口は減るもの、子供の数は減るものとの前提で行財政が行われているのではないだろうか。人口を増やすのは国の施策の責任だが、それでも、日本国内の全ての市町村が人口を減らして

いるわけではない。私は、一般質問などで、地域性を生かして様々なアイデアで、何も無いと言われた田舎でも人口を増やしている市町村があることを紹介してきた。人口が減るのが当たり前だから、小学校や保育所を統廃合する。上下水道料金などの公共料金を値上げするなど、人口を増やす取り組みをしなければならぬ。一番重要な対策を重視しているように見えないばかりかかえって人口を減らす施策を住民に押し付けるといった状況があるのではないか。

また、平成29年度に行った後期高齢者の保険料の低所得者対策を外したりしている。これは、いつかどこかでしわ寄せを生じる。さらに、介護保険の自己負担額を増額させるような施策は、人口を増やす視点から誤った施策である。

町民が町外の友人を、安心してこの町に定住を促すことができる、そういうまちづくりの土台をつくることを展望し、討論とする。

積極的な攻めの移住・定住対策を

町長 町独自の実働的な組織を構築する



柴田 捷 議員

問 柴田議員

来年度の予算方針が示され、町長は、総合戦略をより推進していくと述べられたが、今後は、より実効性のある積極的な移住・定住対策を行わなければならない。大事なことは、本町に住んでみたいと思う人をいかにして呼び込むか。そのためには、行政、経済界、移住経験者、地域おこし協力隊など、地域全体が連携して移住してもらうための仕掛け作りを早急に確立し、移住希望者の掘り起しなど積極的な攻めの取り組みが必要だ。来年度に向けてどのような促進策を展開していくのか、お聞きしたい。

答 寶達町長

少子高齢化や転出超過等により、町の人口減少が進む中、各種施策を推進してきた。まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議では各事業は、一定の成果を上げていると評価

を受けている。しかしながら、より実効性のある積極的な移住・定住施策の促進が喫緊のことと考えている。その一つとして、住宅新築・改修制度と出産祝い金を拡充する方向で検討している。

また、宅地造成や移住体験住宅の整備等を行うほか、子供たちが遊べる公園等の整備を行いたいと考えている。

そして、町独自の実働的な組織を構築して、移住・定住施策の充実に取り組んでいきたい。人口ビジョンの目標を下回る現状にあることを認識し、これを改めるために覚悟をもって大胆に施策を実施していきたい。

再質問 柴田議員

新たに町独自の実働的な組織の立ち上げ、そして移住体験住宅の整備等の促進をやりたいとの答弁については、一歩前進できたのではないかと思う。今後、これらのが十分機能されるよう対策を講じていただきたい。

問 柴田議員

宝浪漫マラソンについて、
①大会を実施したことによる経済効果及びPR効果はどうであったか。
②課題として、大会の目的は何だったのか。ボランティアの動員方法が、適切であったのか。そして、交通規制に対する考え方がどうであったのか。これらの課題について、どのような対策を講じていくのか。
③この大会を継続していくのか、方向性をお聞きしたい。

答 寶達町長

①大会による経済効果については、詳しい統計はとっていないが、大会をコーディネートした会社によると、約630万円の経済効果があったと推計されている。

また、PR効果としては、選手等に対する町民の温かい声援や心遣いのほか、豊かな自然や特産品の魅力を直接感じていただいたほか、事前の

新聞やテレビ等での大会告知を通じて大会と町の魅力を発信できたものと考えている。こうしたことが観光目的での再来や口コミでの誘客の広がりにつながることを期待している。

②大会の目的は、実行委員会が掲げているとおり、ルビィロマンを初めとした地元産物のプロモーションや町のイメージアップを図るとともにマラソンを通じて交流人口の拡大やスポーツ振興による地域活性化につなげていくことと考えている。

ボランティアおよび交通規制の課題については、各集落、学校機関、体育協会、町職員等700人のスタッフを確保できたが、まだ不足していたため役割分担や人員配置に問題があった。

交通規制については、渋滞が発生し多大な御迷惑をかけた。来年は、コースの見直しを図り、円滑な交通確保が課題とされた。

③我が町にしかできないオンリーワンの大会を志向し、町を代表するイベントとして定着していくのが望ましいと考えている。

完成検査等について



塚本 勇仁 議員

町長 適正な施工を確保するための検査を行っている

問 塚本議員

今補正予算にも工事予算が計上されているが、この工事が設計書に沿って正確に施工されているかどうか。完成検査また工事引き渡しをどのように行っているのか。
また、今後発注されるであろう建築工事に対し、段階確認検査や完成検査をどのようにして行っていくのか。

答 寶達町長

各種工事の完成検査は、所管の課長が行っている。工事の発注に際しては、内容に不備がないよう関係者と綿密な打ち合わせを行い、設計書、図面などに基づいて書類検査として確認し、現地においては、計測などを行い、適正な施工を確保するための検査を行っている。
武道館改修工事についての段階的確認や完成検査については専門的な知識や技能を有する職員がいなかったため設計管理業務を外部発注して実施する。

町で開催されるイベントや行事の今後は



林 稔 議員

町長 今後も盛大に開催され継続が図られるよう町としてしっかり協力する

問 林稔議員

町で開催されたイベントや行事について、
①よさこいソーラン日本海は、来年度は20回の記念大会となる。町ではどのような協力を考えているのか。
②3年前にやめた健康まつりには、参加者が1千名近く来られていた行事であったが、これに代わる活動は行われているのか。
③町には、650年の歴史ある行事の蓮華山大相撲があるが、町としてもっと盛り上げることはできないのか。

答 寶達町長

イベントは、地域の活性化、交流人口の増加、町のPR、地域住民のふれあい等のため重要であると考えている。健康祭りは取り止めているが、ほかの行事は、今後も盛大に開催され、継続が図られていくよう町としてしっかり協力を行いたい。

答 企画振興課長

①③今後もイベント主催者と連携し、必要な支援、協力を行うとともに、町の活性化に資するよう取り組んでいきたい。

答 健康づくり推進室長

②地域性を生かしたプロジェクトごとの行事を充実させる体制に移行した。今後とも地域に密着した健康づくり活動を推進していきたい。

問 林稔議員

6月の県議会でもヘルプマークの普及推進を求め意見書が採択された。本町にもヘルプマークを付けた方が来られている。ヘルプマークの案内や説明について、早く対応しなければならぬのではないかと。どのように考えているのか。

答 健康福祉課長

県の方向性を踏まえつつ導入に向けた準備を進めていく。

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

「しおパーキングのインター化」を

町長 現時点では課題が多い

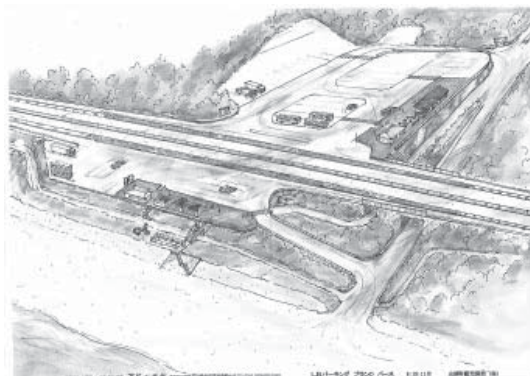


金田 之治 議員

問 金田議員

「しおパーキングのインター化」について、平成26年度に質問した状況から、格段の好条件がそろった現在である。平成25年3月にのと里山海道が無料化になり、平成27年3月には、北陸新幹線が金沢まで開業した。最近では、豪華客船の金沢港への就航がたくさん増えているようである。観光面での来県者の増加が目に見えて著しい状況にあることはご承知のことと思う。

また、本町においては、過疎指定を受けたこと、民間では、「しおパーキング」の隣接地の取得に成功し1万3千平方メートルを所有されたようである。この、のと里山海道のパーキングエリアを現に有している立地条件からも「しおパーキング」において、のと里山海道と千里浜なぎさドライブウェイを直接結ぶことで、本町の宣伝効果は格段に増すのではないかと。



(しおパーキングプラン完成予想図)

そのためにも、のと里山海道に隣接している「しおパーキング」をインター化することで生活面や観光面、原子力、防災災害における避難道路の拠点とするほか、企業誘致や地元企業への支援などさまざまな施策と連携が期待できることから、条件がそろった好機だと考える。今が「しおパーキングのインター化」を前に進める時期にあると考えるがどうか。

答 寶達町長

インターチェンジを新設する場合、その建設費用は全て町が負担する必要がある。平成26年9月議会では、工事費として十数億円が必要と見込まれると答えたが、その後、資材費、人件費も上昇しており、当時以上の経費が必要であると考えられる。

また、周辺の土地について、その利用状況や用地確保も行っていく必要がある。なお、本年度、県において、しおパーキング上下線のトイレで、様式化や内装改修等の環境改善整備を行う予定と聞いている。ご提案のインターチェンジ整備には、効果も期待されるが、現時点では課題が多く、状況を慎重に見極めたいと考えている。

議会を傍聴しませんか

平成31年第1回町議会定例会を開会します。
町民の皆さんの議会傍聴をお待ちしております。

開催日時 3月7日(木) 午前10時

※会議の都合により開催時間が遅れる場合があります。
当日は傍聴券を午前8時30分より配布いたします。

問い合わせ 議会事務局 TEL29-8310



公務員が法令を守るのは当たり前！

町長 常に襟を正しながら今後も職務にあたっていききたい



久保 喜六 議員

一般質問 「町政を問う」 (町政全般にわたる質問)

問 久保議員

去る、9月14日の町議会全員協議会の冒頭で、松栄参事兼総務課長が、議会に対し陳謝を行った。具体的内容がわかりにくく、何について、どう陳謝したのか分かりやすく詳細に答えてほしい。

答 参事兼総務課長

6月期末手当の支給に際しまして、私の勘違いにより、一部新規採用職員の期末手当に係る在職期間の算定方法の適用を間違えていたということである。それにより、在職期間を規定より長く計算していたというものである。8月の全員協議会において質問を受け、確認したところ間違いが判明したので、9月14日の全員協議会において、その旨報告し陳謝したものである。

再質問 久保議員

この顛末は、当該職員から、夏のボーナスの支給に対し、不服があるとし、話があったと。対応した職員は、条例規定

があるので支給はできないとしていたが、それを無視し、当該職員に満額のボーナスの支払いを指示した。私の聞き取り調査したことに對して間違いがあるのであれば答えしてほしい。

なお、参事とこの件について話をした際に、村誰かをかばっているのか。

次に、町長にお聞きしたい。9月14日の全員協議会の席上、町長は、「町の最高責任者として責任私自身、全ての規則に則っていききたい。」と答弁している。町長は、組織の最高責任者として議会に謝罪もない。本当に責任を感じているのだろうか。このことは、町職員懲戒処分等の基準に抵触していると思うが、町職員分限懲戒処分審査委員会を開いて審査する必要があったと思うが、なぜ開かなかったのか。開かなかった理由を聞かせてほしい。また、9月14日の全員協議会から1か月たち支給されてから4か

月以上たっているが、まだ返済されていない。普通、不正支給したとわかったら、すぐに返済するのが常識だと思うが、いつまでに、どのような返済するよう指示したのか。

答 参事兼総務課長

内容については、おっしゃるとおりである。

なお、付度を使ったということについては、今はやりの言葉のあやで、当該職員、町長からの指示はなかった。

答 寶達町長

委員会の開催しないことについては、担当となるものがこの事案に関する顛末の報告を受けておらず、今日まで開催に至っていない。私としては、今回処分は必要ないと考えている。金銭の誤った支給があったという事は事実である。一方、何ものかに不正に損害を与える。また、利益を与える。そのような悪意があつて実施したものではなく、あくまで間違いで行ってしまったことである。私とし

ては、口頭注意したことに加えて、今後自らの職責の重さを十分認識し、他の職員の模範としてしっかり頑張してほしいと伝えてある。

再々質問 久保議員

町長に権限がないから、処分をする委員会を開かなくてもいいという話だが、これにも条例規則がある。故意でないと言っているが、聞き取り調査はされているのか。それもしないのか。故意か否かというのは明確にすべきだ。これで町の統制は取れていくのか。

答 寶達町長

この件は、算定方法を間違つたということで、悪意があつてなされたわけではない。これは、ご理解いただきたい。今回の問題をしっかりと受け止めて、今後さらなる問題がないようしっかりと努めてまいります。



小島 昌治 議員

- ①町地域防災計画に位置付ける必要がある
- ②宝達保育所の閉所は、法令違反
- ③通所介護施設は存亡の危機

- 町長 ①高齢者や障害者の避難体制を計画に位置付ける
 ②廃所が決まるのは、議決を経てから
 ③サービスの維持について検討していく

問 小島議員

①災害対策について
 近年の自然災害を引き起こす異常気象を経験しており、これまでの日本列島が、地震をはじめ、台風や豪雨、竜巻や火山噴火など、様々な災害に關して、かなり深刻な状況に入っていくという可能性があると認識を町長は持っているか。同時に、そういう認識があるのであれば、これまでの延長線上でない一連の対策が求められているが、特に、高齢者や障害者の方々が避難する体制を、町民の方々の知恵と力を借りて行う体制を、具体的に町地域防災計画の中に位置付け、訓練も行う必要があると思うが、いかがか。

答 寶達町長

町の特性や行政責務を考慮したうえで、地域防災計画を見直ししていく。高齢者や障害者などの避難体制については、計画に位置付けられている。

問 小島議員

②議会制民主主義と行政執行について
 前回の町報で、保育所入所申し込みみに宝達保育所が抜けていたことについて、これは、宝達保育所を閉所するための措置なのか。もしそうなら、存続して、保育をしたり保育所を閉所するのは、議会が決定することであるが、議会は、宝達保育所を閉所するという決定をまだ行っていない。耐震診断で安全性に問題がある保育所と診断された北大海第一保育所と宝達保育所について、一方は入所申し込みができて、他方はできない。どのような意図があるのか。町報により議会での決定もないときに宝達保育所への入所申し込みができないという事態に、多くの町民が、特に宝達地域の方が混乱している。どのような対処をするのか。

答 寶達町長

平成29年度に入所児童数が

30人を下回ったので、統廃合検討委員会の報告に鑑み、町で閉所の決定を行った。

再質問 小島議員

保護者の方々から、前年に宝達保育所を閉鎖すると言われたので相見保育所に変った方々が、20名くらいおられる。これは町長が説明会で言われたことである。
 今の宝達保育所にいる子どもたちと合わせれば、北大海第一保育所と同じ人数になる。そういう中で、条例も法律も無視して行政が(閉所に向けて)突っ走る事を改める必要がある。認識を改めるべきだがいかがか。

答 寶達町長

廃所が決まるのは、議会の議決を経てからになる。保育を実施しない、閉所に至っていくことについては、しっかりと法を遵守して行っていく。

問 小島議員

③介護保険の通所介護施設への報酬について
 今年度の介護報酬の改定で、通常規模型の介護報酬が1.7%から4.8%の引き下げとなったと施設の方に聞いた。前回平成27年度の介護報酬の大幅引き下げに続く引下げである。介護を必要とする町民にとっては大切な介護通所施設である。我が町にとっても大切な介護通所施設である。2回連続の大幅な介護報酬のマイナス改定で、施設の存亡の危機にあるという認識を私は、訪問して思った。通所看護施設を運営する方々の声を町行政が聞いて改善に向けて歩むことが求められているが、その考えはあるか。

答 寶達町長

総合事業における訪問型、通所介護サービスを運営する事業所との連携を図りながら町として、実態把握に努め、サービスの維持について検討していく。

特別委員会の

審議

決算特別委員会

(10月3日・4日開催)

◎聞取り審査内容

問 国民健康保険特別会計で約1億7千5百万円の基金積立は繰越金を積み立てたものだが、なぜ、繰越金が多くなったのか。

答 医療給付に対する国庫補助金が当該年度だけではなく、過年度に貰うべき補助金も含まれているので多くなった。毎年ではなく少ない年もある。

問 後期高齢者医療特別会計で保険料の収納率が良いのはなぜか。

答 督促状、催告状の送付及び電話連絡、訪問を行っている。未納の金額が大きくなるに当たって対応しているのが良い結果となっている。

問 バリウムの集団検診だけでなく、胃カメラ検診を取り入れてはどうか。

答 胃カメラは集団検診に向かないため、医療機関の受診が想定される。委託料金や読影が絡むため、郡市医師会の承諾を得る要件が不足している。今後の検討課題としたい。

問 窓口業務民間委託事業の内容について。

答 現在は3か年の長期継続契約を締結しており、期間満了後の再委託は未定である。配置人数は責任者1名、副責任者1名、その他従事者3名の5名で、従事者は女性に限らず男性責任者の場合もある。

問 今池団地の販売状況はどうか。分担金を免除し、上下水道整備、町道拡幅もしているが、町の施策としてどう判断しているか。

答 7区画中、3区画が販売済み。民間の活力を生かした取組みとして実施したものが、3区画の販売に留

まっており、現状では施策の良否は判断しがたい。



(今池団地跡地)

問 震災対策農業水利施設整備事業、広域農道維持管理事業費でのため池や橋の耐震について。

答 ため池、広域農道橋は平成27年度の新基準で調査した結果、耐震性がないと判断された。改修工事は、ため池が平成32年、34年、36年と計画的に耐震補強をする

工事を計画しており、農道橋については、町で橋梁の耐震化計画(仮称)等を整備し、町道橋を優先に耐震補強をするような順位づけについても整理する必要がある。

問 体育施設の使用料を徴収するようにしたが、現状はどうか。

答 利用料金徴収開始当初は文句などがあつたが、今はそうでもない。利用する人、利用しない人の公平性を考えると妥当なこと。グラウンドゴルフ場の利用者は減っているが金額的には高くない。会員の高齢化等で減ったのが大きな要因と考えられる。

問 NPO法人宝達志水スポーツクラブの状況、指定管理者として運営はどうか。

答 押水地区の体育施設の指定管理として3年目となる。生涯スポーツ振興に努めており、繰越金が多くある。

問 下水道料金を月5000円値下げしたが、一般会計からの繰出しは、今後どうなるのか。

答 値下げ分の料金収入は年間約2千万円の減が見込まれる。平成29年度でも積立金を取崩していることから、事業を継続的に運営する

うえで資金不足が生じないよう補填する必要がある。

問 歳入で地方交付税が段階的に減少するとしているが、町税を占める割合、状況はどうか。

答 固定資産税は、土地の評価は下がって減収となるが、太陽光事業の償却資産の増加が補う状況となっている。法人町民税で年度によって大手企業の業績により税収に増減がある。

問 住宅を取り壊すと土地の固定資産税が上がる理由は。

答 住宅用地には課税の特例があり200㎡までの住宅用地について課税標準は価格の6分の1の額になっている。住宅を取り壊すと特例がなくなり税額が上がることになる。一方、住宅にかかってきた固定資産税は無くなる。

問 繰上償還を行っているが高利率の借入はどれだけあるのか。今後、起債を抑制する時、どれだけまで借入

きるのか。

〔答〕繰上償還できない政府資金などで、利率が2%以上のものが約1億5千万円で全体の1.5%である。起債残高を減らすには、毎年の公債費（返済額）約9億円より借入額を少なくする必要がある。

小学校及び保育所統廃合
特別委員会
(11月9日開催)

〔問〕統廃合について、住民の心配が先立っている。住民不安を取り除くのが最大の責務ではないか。
〔答〕お話できる段階で、お話をさせていただく。できる限り不便のないようにしていきたい。

〔問〕統廃合の進み具合、制服はどうなるか。
〔答〕志雄、押水地区に1校ずつという方針が出されているが、場所は決定していない。今後は、学校の準備委員会等での話し合いが必要。そのため、制服については現

段階では回答できない。

〔問〕タウンミーティングを総括したものはあるのか。
〔答〕総括したものは、承知をしていない。

〔問〕町長は何を分析して方針を出したのか。
〔答〕判断に至ったのは、データ、タウンミーティングの中で皆さんからいただいたご意見等様々である。総合的に判断をした。

〔問〕宝達保育所の閉所説明会は、今回で終わりなのか。
〔答〕9月の一回のみ。今後、交流会等を行っていく内容を記載した文書を保護者に送付している。

〔問〕中央保育所を移築したときに3億円かかるとのことだが、どの程度の規模なのか。用地費は含んでいるのか。
〔答〕相見保育所の6億円の半分。かほく市の保育所で規模が、定員80人程度の3億円で作られたものを参考としており、用地費は含んでいない。

会期中の
常任委員会等審議

病院運営特別委員会
(11月9日開催)

〔問〕病院のATMの設置について、北國銀行、のと共栄信用金庫に対して、町として強く要望しているのか。
〔答〕昨年度交渉していたが、良い結果に至らなかった。今後改めて交渉はしない。クレジットカード、キャッシュカード等の支払ができるよう進めている。キャッシュレスで支払ができるよう対応したい。

〔問〕キャッシュレス化の計画はいつごろか。
〔答〕年度内にできるよう進めている。

〔問〕ATMとキャッシュレスの違い、病院の手数料の持ち出しはいくらぐらいか。
〔答〕キャッシュカード等支払の場合、病院負担の手数料が

かかる。年間50万円程度の手数料となる見込み。

〔問〕車庫カルテ庫の現状について。
〔答〕志雄病院にあったカルテは全てカルテ庫に移動し、整理している途中となっている。

〔問〕志雄病院解体工事の進捗状況について。
〔答〕病院の残留物の仕分けに時間がかかっており若干工程は遅れているが、できるだけ遅れないよう業者に依頼している。

〔問〕住民説明会では工期も伝えられているため、工期変更は迷惑になるのではないか。
〔答〕工事の経過は適宜報告していく。

〔問〕歯科の休診及び患者の対処について。
〔答〕住民の声が高まれば新体制での診療を考えている。患者さんと相談し適切な歯科医を紹介させていただく。

〔問〕学校トイレの洋式化について。
〔答〕各家庭で洋式が主流となっ

〔問〕相見小学校で外壁がはがれ落ちてきて、中庭に入れない。こういう危険な箇所は補正をして修繕していただきたい。
〔答〕維持管理業者に点検を依頼したところこういったことが発生し、補正で計上した。指摘された場所以外にも修繕を要する箇所があり、多額となるため吟味しながら進めていきたい。

〔問〕各学校トイレの洋式化について。
〔答〕各家庭で洋式が主流となっ



(病院長より歯科休診の説明)

教育厚生常任委員会
(11月12日開催)

〔問〕相見小学校で外壁がはがれ落ちてきて、中庭に入れない。こういう危険な箇所は補正をして修繕していただきたい。
〔答〕維持管理業者に点検を依頼したところこういったことが発生し、補正で計上した。指摘された場所以外にも修繕を要する箇所があり、多額となるため吟味しながら進めていきたい。

〔問〕各学校トイレの洋式化について。
〔答〕各家庭で洋式が主流となっ

〔問〕相見小学校で外壁がはがれ落ちてきて、中庭に入れない。こういう危険な箇所は補正をして修繕していただきたい。
〔答〕維持管理業者に点検を依頼したところこういったことが発生し、補正で計上した。指摘された場所以外にも修繕を要する箇所があり、多額となるため吟味しながら進めていきたい。

ている。トイレ改修は大規模改修で多額となる。小学校は5校あり、個数を検討しなければいけない。全てを洋式に換えるのは難しく、統廃合もある。他の修繕箇所もあり、優先順位をつけ、検討していきたい。

問 相見小学校で洋式トイレを使用するため授業に遅れることがあったと聞いているがどうなのか。

答 トイレが理由で授業開始時間におくれる場合は、大目に見るようになっていく。

問 宝達中学校グラウンド改修の現状はどうか。

答 グラウンド改修工事では、サンドパイルや側溝を設けて、水はけがかなり改善した。砂の色も大分なじんできていく。

問 当初、テニスコートを芝等クレーパー舗装にしてほしいという要望があったが現在はどうか。

答 現在、芝生化等の要望はない。

問 小中学校で不登校、いじめはあるのか。

答 不登校については、4月から30日以上欠席の子どもを不登校とすることと定義づけされた。小学生で1名、中学生は3名30日を超えている生徒がいるが、徐々に欠席数が減っている。別室登校しながら快方に向かっている。いじめに関しては、4月から小中学校併せて6件上がっている。いずれも小さい案件で早期発見、早期対応している。

問 宝達高校支援について、今後に向けて考えていただきたい。

答 今すぐできないことはあっても、何かできないか十分に検討していきたい。

問 サッカー場の指定管理について、例年20万円程度繰越金がある。体育館の予算額の中に繰越金が載せてあるが全ての事業の結果において余ったものは繰越となるのか。

答 繰越金は次年度の運転資金

としていく。企業努力での余剰金。3年ごとの契約のため、契約時に協定書等で余剰金が出た場合の対処を今後考えたい。

問 3年間の間に繰越があつて今の数字が上がっている。繰越金の取扱いについて契約の内容はどうなっているのか。

答 協定書では、繰越金は返すとも返さないとも明記されていない。次回の協定書には取扱いを記載したい。

問 青少年ホームの宿泊は使用料に繋がる。施設の改修を行い、スポーツ交流ができる場にして収入を増やせれば指定管理の費用も下がるのではないか。

答 施設を綺麗にすれば需要が伸びるのであれば、修繕について検討を行う。

問 保育士の代休が取れない原因は人員不足が理由であれば増やす必要がある。

答 一番の原因は保育士の不足である。全国的な保育士不足

の状況であり、正職採用ができたのは1名のみとなった。代休取得ができないため時間外手当で対処する。

問 代休を支給するのは、どのようなケースか。

答 4月当初は土曜日の午後

分を時間外、平日の分は代休としていた。代休が溜まったら半日休むやり方をしたが、職員が不足のため、代休が取れない状況となっている。

問 大雪による農業用ハウスの被災頭数及びハウスの雪下ろし等の予防対策は。

答 大雪による農業用ハウスの被災頭数及びハウスの雪下ろし等の予防対策は、補助対象分で6件の申請。被災したハウスは9棟。予防措置の周知はしており、今回補助対象となったものは、共済保険への加入が条件となっている。

問 今年度中途採用した職員の中で、なぜ参事級扱いをしなればいけないかったのか。

答 これまでの勤務先における条件と同等の条件でということと話をしていた。町でその給料を支払う際には、そういう身分、職位といったものが必要であった。

問 区長と協議し排土したものの、行政と地元、地権者の3者で協議はするが、基本的には持ち主の方に後始末をしていただく。

答 誰が後始末をするのか。

総務産業建設常任委員会

(11月14日開催)



(総務産業建設常任委員会の様子)

町議会日誌 10月～1月

〔10月〕

- 1日 石川県町村議会議長会
議長協議会及び監査会
(金沢市)
- 3日 決算特別委員会
- 4日 決算特別委員会
小学校及び保育所統廃
合特別委員会
- 7日 敬老会(押水地区)
- 9日 羽咋郡市広域圏事務組
合決算特別委員会
(羽咋市)
- 10日 広報編集特別委員会
- 13日 蓮華山大相撲土俵祭り
- 15日 広報編集特別委員会
第2回石川県後期高齢
者医療広域連合議定会
例会
- 17日～18日 常任委員会合同
国会要望活動
- 19日～21日 YOSAKOI
ソーラン日本海本祭
- 22日 議会運営委員会
- 23日～26日 定期監査
- 25日 例月出納検査
- 27日 植樹会

29日 全員協議会

羽咋郡市広域圏事務組
合例月出納検査

(羽咋市)

30日 定期監査

30日～31日 国道159号羽咋道
路整備促進期成同盟会
要望活動(東京都)

(羽咋市)

3日 功労者顕彰式

5日 羽咋郡市広域圏事務組
合議会運営委員会

(羽咋市)

羽咋郡町議会議長会

8日 第4回定例会開会

9日 小学校及び保育所統廃
合特別委員会

病院運営特別委員会

12日 教育厚生常任委員会

14日 総務産業建設常任委員
会

16日 議会運営委員会

第4回定例会再会

22日 羽咋郡市広域圏事務組
合第3回議定会定例会

(羽咋市)

25日 石川県防災総合訓練

26日 例月出納検査

27日 羽咋郡市広域圏事務組
合例月出納検査

(羽咋市)



(植樹会)

〔11月〕

- 1日～2日 町村監査功労者
表彰式・町村監査委員
全国研修会(東京都)

〔12月〕

- 20日 ちどり園開設25周年記
念式
- 25日 例月出納検査
- 27日 羽咋郡市広域圏事務組
合例月出納検査
- (羽咋市)

〔1月〕

- 5日 消防出初式
- 7日 第1回臨時会
- 8日 新年互礼会
- 13日 成人式
- 24日 広報編集特別委員会



(成人式 議長祝辞)

- 25日 例月出納検査
- 羽咋郡市広域圏事務組
合第1回臨時会
- (羽咋市)
- 26日 体育協会表彰式
- 28日 議会運営委員会
- 29日 羽咋郡市広域圏事務組
合例月出納検査
- (羽咋市)
- 石川県町村議会議長会
臨時総会(金沢市)

広報編集特別委員会

- 委員長 塚本 勇仁
- 副委員長 小島 昌治
- 委員 守田 幸則
- 委員 土上 猛
- 委員 林 稔

平成31年2月15日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1
TEL(0767)29-8310(直通)
FAX(0767)29-4623

■編集

宝達志水町議会
広報編集特別委員会



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。